



4/3

交通事故の犠牲者を増やさない! 十和田地区交通安全総決起大会

市民文化センターで、春の交通安全運動の一環として、「十和田地区交通安全総決起大会」が開催されました。

大会には、十和田地区交通安全母の会など約270人が参加。十和田地区交通安全協会の田島一史^{かずふみ}会長が「地道に交通安全活動を続けていくことをお願いします」と、挨拶しました。最後に参加者を代表して、(株)福萬組の鷹屋敷綾^{あやみ}さんが「飲酒運転の根絶に努めます」など、交通事故防止にまい進することを力強く宣言しました。



山崎悠生^{ゆうま}くん(南小1年)と田中李咲^{りさ}ちゃん(東小1年)が、事故に遭わないための5つの約束を元気よく誓いました。

4/12

認知症になっても安心して暮らせるまちづくり 上十三もの忘れフォーラム

市民文化センターで、「第10回上十三もの忘れフォーラム2014」が開催されました。

フォーラムでは、「認知症の人と家族の会 青森県支部 十和田世話人会」の泉早苗さんらの講演、認知症の家族の様子をユーモアを交え、わかりやすく演じた「じゅんちゃん一座」の寸劇や専門の医師らによるパネルディスカッションなどが行われ、会場を訪れた観客は、認知症に対する理解を一層深めていました。



(一財)日本公衆衛生協会会長表彰の第46回衛生教育奨励賞を受賞した「じゅんちゃん一座」の寸劇

市役所に金色の「まとい」登場

日本消防協会特別表彰の「まとい」を展示

市消防団が日本消防協会から受章した特別表彰の「まとい」を市役所本館1階東側に展示しています。

展示されている「まとい」は、全長約2m、重さ約10kgで、純金箔・純銀箔仕上げとなっています。「あゆみの額」には受章の経緯が記されており、市消防団の長い歴史の中で、日夜努力を重ねてきた先輩たちへの敬意を表すとともに、さらに一致団結し、市民の安心と安全に寄与するとしています。



市役所本館の休憩スペースに展示しています。市役所を訪れた際は、是非、ご覧ください。

アートによるまちづくり

中心市街地に新たなアート作品が登場

市では、中心市街地活性化基本計画に基づきアートによる街づくりプロジェクトの一環として「中心市街地アートファニチャー整備事業」を実施しました。

この事業は、中心市街地の回遊性を高め、歩いて楽しめる街づくりの実現のため、ArtsTowadaのコンセプトを生かしたものとなっています。

今回の作品は、市現代美術館を設計した西沢立衛^{りゅうえ}さんを監修者に迎え、建築家の近藤哲雄さんと日高恵理香さんが制作しました。



▲近藤哲雄作「pot (ポット)」

中心商店街の株青森銀行から南みぞぐち布田店までの街区に設置しています。商店街にお立ち寄りの際は、ご鑑賞ください。

▼日高恵理香作「商店街の雲」

